

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	産業コミュニティ創出事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-2	工業の強化と新たな産業の創造		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、農商工事業者	意図	農商工連携を枠組みとした産業づくりについて検討し、新たな流山ブランドを構築する。
事業内容	様々な異業種の事業者が情報を持ち寄り、交流する場を設けることを目的にしている。これにより、新たな事業の創出や新たな雇用創出が図られ、本市の産業振興が発展していくものと考えている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年4月10日付け、流山市産業振興審議会から「農商工連携の推進及び商店街活性化の具現化策について」答申があったことから、平成28年、平成29年と千葉県、千葉県産業振興センター、商工会議所、農業振興課、商工振興課が連携し、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」の開催や講演会、イベント等に参加し、有機的な連携を検討・実施に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	農商工連携による新たな流山ブランドの構築や地産地消、地産外消等を推進するため、講師を招いての講演会、イベント（市民まつり）等に参加し、農商工連携のためのきっかけづくりを行った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		686,500	671,200	659,200				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	講演会の実施、イベント（市民まつり）等に参加し、農商工連携のためのきっかけづくりを行う。農商工連携にふるさと納税返礼品の創出を行う。	③取組における課題(Check)	農業者と商工業者との連携した新商品の開発や販路拡大
②H30に実施した取組(Do)	商工会議所と連携した講演会の実施、市民まつりでの講演会の実施及び出店した。ふるさと納税返礼品として流山産のコシヒカリとミルキークイーンの設定を創出した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き、農商工が連携した新商品の開発のためのきっかけづくりを構築し、新規事業に着手できようよう支援していく。